

誰もが学び続けるために～私たちの活動報告～

静岡県立大学
学生助けたいんじゃー

国際関係学部3年 松浦旦周
看護学部2年 佐藤美帆



今日、お伝えしたいこと

- ①今、大学にはどんな学生がいるのだろうか
- ②学生助けたいんじゃー&たべものカフェの取り組み・見えてきたこと
- ③今後、私たちはどう取り組んでいくのか



①今、大学にはどんな学生がいるのだろうか



①今、大学にはどんな学生がいるのだろうか

大学への進学率は54.9%

「2人に1人が大学に進学する時代」

高等教育(大学・短大・高専・専門学校)の給付型奨学金の導入

* 高等教育への進学率は83.8%

* 大学進学率は54.9%(令和3年度 文部科学省学校基本調査より)

→→ 苦しい環境にいる学生が、奨学金など様々な制度を使い、大学に通えるようになった

小中高校における、スクールソーシャルワーカーの配置

→ 支援を受けながら、学び続けられる環境が整えられつつある

https://www.mext.go.jp/content/20211222-mxt_chousa01-000019664-1.pdf



生活が苦しくなっている中、苦しいからこそ、大学に入る学生がいる

頑張って大学に入ったとしても...

奨学金には様々な条件がある

(成績評価、4年で卒業しなければならない、

借りた病院に勤務せざるをえない(看護))

→体や心が疲れてしまったり、成績を落としてしまったとき、立ち行かなくなる

負のループに陥ってしまうこともある

お金が足りない→アルバイトを沢山入れる→睡眠不足、授業に出られない、

勉強できない→成績を落とす→奨学金や学費免除が減額、支給されなくなる

→心や体を壊してしまう→お金が足りない→退学に繋がる



②学生助けたいんじゃー&

たべものカフェの取り組み・見えてきたこと



学生助けたいんじゃーとは？

身近な学生に大変な思いをしながら生活をしている人がいる

→誰も取り残したくない・どうにかしたい

→コロナ禍の2021年7月に活動開始

大学の取組を改善につなげていくためのプロジェクト

取り組んでいること

1. 学生の貧困の実態把握(県大生を対象に、昨年9月から現在も継続中)

- ・学生とおしゃべりしながら、お金のこと、生活のこと、健康のことをヒアリングをする
- ・居場所になってもらえるように、カフェのようにあたたかい雰囲気ですべてをやってます

2. 情報発信

- ・Twitter、note(ブログ)で大学生の思いや現状を伝える
- ・イベント(講演会等)への参加
- ・大学(県大や他大学)での授業

3. 政策へ反映

- ・静岡県議会議員とのプロジェクト
- ・静岡県議会議員と大学生との意見交換会



←noteリンク

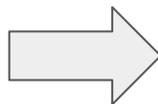


1. 学生の現状を把握する 「ヒアリング」

たべものカフェで...

運営: 学生ボランティアセンター

食料配布とともに、ヒアリング
(金銭面や心身に関する質問)を行う



学生助けたいんじゃーで...

・たべものカフェのヒアリング結果を元に学生の実態を知る

・より詳しいヒアリングを行う

・学生の実態を、大学や県に伝える



そもそも

たべものカフェって...？

頻度: 1週間～2週間に1回(2020年7月～)

場所: キャンパス内と宅配

・食料配布

栄養バランスを考えた食材

→学業やバイトで忙しい学生が
健康な生活を送れるようにする

・ヒアリング

学生が悩みを聞き、お話をする

→困っている学生本人の希望に沿って必要な支援に繋げる

・孤立を防ぐ

利用者の間で、知り合いになって友達になる
(あるいは、スタッフも友人になる)



1. 学生の現状を把握する 「ヒアリング」

聞いていること

- ①お名前、学部、学年
- ②住まい
- ③たべものカフェを知った経緯
- ④たべものカフェを利用しようと思った理由
- ⑤自己負担しているもの(学費、家賃、生活費、交通費 ...など)
- ⑥アルバイトについて(内容と頻度)
- ⑦必要な収入と実際の収入
- ⑧今の金銭状況(1ヶ月生きていけるか不安、金銭的支援がほしい、など)
- ⑨体調について
- ⑩食事について(頻度と内容)
- ⑪睡眠について(時間と質)
- ⑫困っていることについて



見えてきたこと



たべものカフェの利用状況

- ・2022年4月～8月のはばたき棟たべものカフェで

199名の方に食材をお渡ししました

そのうち... 実際の収入 < 必要な収入 = 赤字

109名(全体の55.6%)

- ・宅配のたべものカフェ(第1回～第18回)

申込者数: のべ796名



見えてきたこと

- ・研究・実習が忙しすぎ、バイトをする時間がない(理系)
- ・実習先が選べない(家から遠い)のに、交通費が(ほとんど)自費(看護学部)

制度から漏れてしまう
人がいる

コロナでさらに...

- ・看護学部で実習二週間前・実習中がバイト禁止

生活をするためにはお金が必要

- お金を稼ぐためにアルバイトをしなければならない。シフトが断れない。でも実習や研究、就活などやることもある。
- 睡眠時間の減少、過度の疲労の蓄積。心身が不調に。
- 授業が受けられない、予習復習ができない。
- アルバイトにいけない、大学に行く気力も体力もない。

孤立する。

- 単位・成績を落とす。

※給付型奨学金や授業料減免を受けている場合は、受けられなくなる

➡ 留年や退学を選ばざるを得ない。

はばたき棟たべものカフェでの学生の声(一部)

朝は出費節約のため食べていない。就活と研究の両立のため、バイトが出来ていない。費用の不足分は過去3年間で貯めたお金で補う。残りの貯金は2~3ヶ月分あるけど、その先が危うそうだった。(食品栄養4年)

一人暮らし。親の支援がない。学費と家賃と光熱費は自費。
(看護学部2年生)

実習半年間の生活費を確保しなければならないのが大変。
周りの友達も大変そうらしい。
(看護学部3年)

ご飯を食べるのは夕方だけ。お昼は水を飲めば何とかなる
(国際関係学部3年)



はばたき棟たべものカフェでの学生の声(一部)

土日はフルタイムでバイト…。家や空きコマは勉強をされていてゆっくりできる時間がなかなかない。(薬学部3年生)

貸与奨学金8万のうち、5万を家賃にまわす。学費の一部は親が負担している。収入があと1~2万あると服とか靴が買えて有難い。バイトは2月から始めた。おしゃべりだから一人暮らしが続くと病むので頻繁に帰省している。
余裕が無くなると1日朝と昼だけの食事。(国際関係学部2年生)

授業料を自分で支払ったので、自分の口座に1万円もない状態で、バイト代が月末にはいつてくるまでとてもギリギリの状態。実家も経済的に余裕がない。
(国際関係学部2年)

現状を知って...助けたいんじゃーはどう活動をしたか

1. 情報発信

- ・『たべものカフェってなに?』私たちの取り組みと、学生の声を載せた冊子
- ・Note(ブログ)を書いた 3569View (2022/10/20現在)



note FES.22.

キーワードや作者名で検索



投稿



ホーム 記事 メンバーシップ マガジン スキ 月別

学生助けたいんじゃー

静岡県立大学の学生が、学生の貧困について状況を把握して大学の取り組みの改善につなげていくための活動や、情報発信などを行っています!!詳しくは最初の記事をご覧ください。Twitterでは実際に貧困に苦しむ学生の声を載せています。こちらを確認していただけると嬉しいです。

39 フォロー 20 フォロワー

設定



見て見ぬふりはできない

こんにちは!助けたいんじゃーのとりです 今日たべものカフェに来てくれる学生の声と助...

♡ 9

学生助けたいんじゃー
1か月前



たべものカフェ

2. 政策形成プロジェクト

政策
形成
プロジェクト

あなたの声で
政策をつくりましょう

政策形成プロジェクトとは

応募ルール

進行中のプロジェクト

Blog

お >

学生の貧困を解消したい



静岡県議会議員の方が取り組む
「政策形成プロジェクト」に参加



県の担当部署や県・市議を交えて
現状を伝え、お話しする会を開く



県議会で議員による一般質問
(2022年3月)



政策形成プロジェクトの報告会
(2022年7月)
「振り返りシンポジウム」
多くの人に知ってもらう

令和4年度一般会計予算の概要 総額

方針1 人づくり・富づくりを具体化する取組

(1) 安全・安心な地域づくり

・新型コロナウイルス感染症対策関連事業費	666億7824万円
・新興感染症等対策関連事業費	9500万円
・地震・津波対策等減災交付金	30億円
・医療福祉人材処遇改善関連事業費(新規)	61億7560万円

(2) 持続可能な発展に向けた新たな挑戦

・ふじのくにデジタルトランスフォーメーション推進事業費	1億9760万円
・脱炭素社会実現関連事業費	5億4720万円
・省エネ住宅普及推進事業費(新規)	1億2034万円
・森・里・川・海のつながりを踏まえた環境保全の推進事業費(新規)	3500万円

(3) 未来を担う有徳の人づくり

・ヤングケアラー支援体制構築事業費(新規)	1790万円
・大学生等学びの継続支援事業費助成(新規)	10億8700万円
・多文化共生関連事業費	1億6666万円

10億8700万円の予算がつきました

令和4年度一般会計補正予算の

新型コロナウイルス感染症対策に要する経費

県議会だよりは紙面の都合上質問と答弁の一部を掲載していますが、県議会ホームページでは全ての質問と答弁

では、学生の貧困は、給付金で解決できるのか？

静岡県立大学で行われた取り組み

→一律5万円の給付金(大学が提示した3つの条件に当てはまる学生)

- ・本当に困っている学生には1度では足りない
- ・お金を渡すだけでは、根本的な解決に至らない
- ・給付の条件に漏れてしまう困っている学生がいる
- ・お金を渡すだけでは、何に困っているのか分からない

個人に合わせた継続的な支援をする、支援につなげることが必要

③今後、私たちはどう取り組んでいくのか

大学が、もっと学生に寄り添う仕組みになるようにしたい！

- ⇒①学生の貧困支援体制の確立
②学生の適応状況の集中的把握
③CSWの導入

教員、職員、ワーカーが「学生一人ひとりを気に掛ける」ような仕組みをつくりたい

キャンパスソーシャルワーカー(CSW)の導入

CSWとは

・個々の学生が抱える問題に対して、個別に適切な機関につないだり、アルバイトを紹介したりなど多岐にわたる個別支援を行い、解決に導く

なぜCSWの導入が必要か

現状：県大には心理的な悩み事を相談できるカウンセラーはいるが、金銭的な問題を福祉とつないで解決に導くための専門家である「キャンパスソーシャルワーカー」がいない

カウンセラーとソーシャルワーカーの違いとは？

<カウンセラー>

「学生本人の心」に注目心の問題に寄り添う

<CSW>

「学生を取り巻く環境」に注目
例)「家の問題でコロナで倒産になった、しんどいです」
→お金の制度の使い方を紹介
社会の中で生きるために、外と自分を繋いでくれる支援をする。

支援の仕方が違う

→どちらも必要

学生の抱える困難を
両輪で解決していく

CSWのいる、日本福祉大学の例

「学生が、大学で学び続けることができるように、

より良い学生生活を、4年間おくれるように」

1. 大学に、支援・相談窓口が一元で、重層的にある

学生、教員ともに相談対応フローがあり、困りごとに対して解決する窓口が明確化されている。

⇒ **キャンパスソーシャルワーカー**、学修支援、障害学生支援、カウンセラー等の組織があり、全てが学生課の下で一元的に運営されている。専門職員と大学職員、教員間、ときには市役所（行政）や地域の方々と連携を取りながら、学生の抱える問題に対して、必要な**支援**をそれぞれに行う。



「学生が、大学で学び続けることができるように、

より良い学生生活を、4年間おくれるように」

2. 学生のことを把握する(アンケートと面談)

⇒「困りごと」と「学生」を知る

3. ピアスペース、勉強面でのサポート(等)

⇒居場所がある、仲間がいる、困ったことを相談できる

4. 自治会

学生の声を大学に届け、問題解決する仕組み



☆Twitter

学生助けたいんじゃー

@tasuketainja



ありがとうございました！

学生ボランティアセンター

@shizubora

